



# NEWS

2008 No.206

5月号

全国整備工場の皆様へNGP組合員200拠点がお届けするお役立ち情報

## ドライブレコーダーの効用を考える

# 交通事故防止から省燃費までと効果大 国土交通省も事業用車両を中心に普及に本腰 お勧めしたいアイテムのひとつ

タクシー、トラックなど事業用車両を中心にドライブレコーダーの普及が進んでいます。昨年来、大手部品メーカーの市場参入が相次ぎ、エンドユーザー向けの製品も増えました。事故の予防から省エネまでと、取り付けることで幅広い効果が期待されています。

ドライブレコーダーは、事故発生時の前後の走行情報を記録する装置です。急ハンドル、急ブレーキなど、ドライバーが急激な操作をしたとき、そこで生じるG(加速度)を感知し、急加減速の状態とともにドライバー視線で車前方の状況を電子映像で記録します。大型車では連続して映像を記録する装置も開発されています。

交通事故の当事者である運転者の記憶は、あいまいです。例えば、出会い頭の追突事故がどのような状況で起きたかを客観的に知ることができれば、当事者間の責任のなすり合いなどもなくなると思いませんか。事故処理業務の負担軽減とともに、運転者教育にも役立つことから、タクシー事業者で普及が始まりました。今ではトラックやバス事業者でも、ドライブレコーダーを取り付ける車両が増えています。

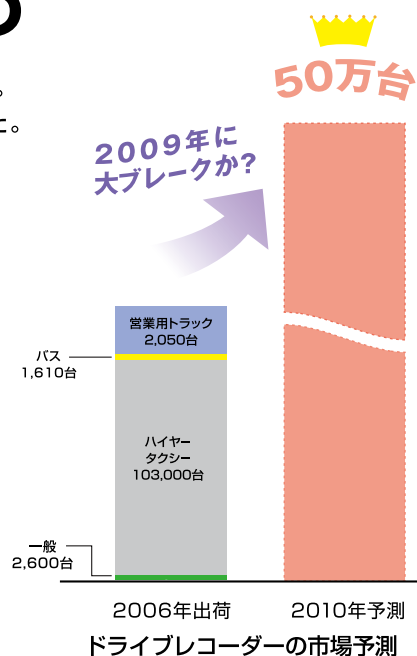
国土交通省も、2004年度からドライブレ

レコーダーの調査研究を進め、その仕様や活用方法を検討してきました。運転者教育のために、記録した画像を効率的に取り出し、整理するためのソフト開発も始まっています。「第8次交通安全基本計画」(05年3月)で政府はドライブレコーダーの普及を打ち出しました。これを受けて、昨年には、事業者用製品だけでなくエンドユーザー向け製品を提供するメーカーが増えました。また、ホンダがディーラーオプションでドライブレコーダーを設定しましたし、保険業界もドライブレコーダーを貸し出し、安全運転診断を始めるなど、さまざまな形でエンドユーザーへの普及が始まろうとしています。

あるタクシー事業者は、首都近郊の私鉄沿線で営業し、狭い生活道路を車両が走行する機会が多いため全車両にドライブレコーダーを取り付けることを決めたそうです。その結果、「急な飛び出しなどの事故状況が記録されているため、交通事故の相手と冷静な話し合いができた」など、交通事故の後処理業務に負担は軽減したと言います。

装置を取り付けたことで慎重な運転をするようになり、その結果、運転者ごとの燃費も向上したそうです。

このドライブレコーダーは今後、エンドユーザー向けにも普及が期待できそうです。2010年には年間50万台という市場規模に達するとの



予測もあります。

しかし、ドライブレコーダーの機種は増えてきているとはいっても、先日訪れた大手カー用品店の店頭では、わずか3機種しか置かれていませんでした。カーナビなどに比べると、取り扱いに力が入っていないようです。

単価は5万円前後ですが、装置の効用についてエンドユーザーの認知が進んでおらず、お客様にしっかりした説明ができないと売れません。お客様と相対で売る商材は、整備事業者の皆さんが得意とする分野のほうです。景気が停滞しているときは、余分な支出を抑えることが鉄則です。数台の事業用車両を抱える事業者ユーザーには、交通事故防止のために、ぜひ勧めたい装置です。また、狭い生活道路を走行する機会が多いユーザーにも、自己防衛のために必要になるかもしれません。



小型カメラで前方の画像を記録するドライブレコーダー。政府も普及に力を入れている

# タクシーからトラック、バスに 一般ユーザー向け普及は09~10年にかけてか

## 現在発売中の主要企業のドライブレコーダー

製品名(メーカー)	発売日	カメラ	記録画像	特徴
DriveEye (クラリオン)	07年6月	30万画素	前後 20 秒 (前 15 秒 / 後 5 秒) 30 コマ / 秒	一体型、一般向け カメラ角度を4段階で調節可能
どら猫3 (ホリバアイテック)	07年8月	25万6千画素	前後 20 秒 (前 15 秒 / 後 5 秒) 30 コマ / 秒	「どら猫シリーズ」のエンドユーザー向け 最新機種、カメラ角度を4段階で調節
DREC2000 (富士通テン)	07年10月	27万画素	前後 20 秒 (前 12 秒 / 後 8 秒) 30 コマ / 秒	AV & ナビ「ECLIPSE」のシリーズ。 ナビ・モニターでその場で見ることができる
クルマメDRE-120 (KYB)	08年1月	27万画素	前後 30 秒 (前 20 秒 / 後 10 秒) 15 コマ / 秒	クルマメシリーズのEMS対応の最新機種。 簡易版もあり
YAZAC-eye2 (矢崎総業)	08年2月	27万画素	前 15~40 秒 / 後 5~20 秒 30 コマ / 秒	EMS対応の新機種。 タクシー、トラックなどのプロ向け

※ EMS(エコドライブ管理システムの略) 国土交通省が進める運輸事業者の総合的な省エネ運転対策

ドライブレコーダーは、タクシー・ハイヤー業界で導入が始まり、トラック、バスといった業務用車両で装備が広がってきています。特に業務用では、EMS(エコドライブ管理システム)対応という機種が発売されています。このタイプは、単に画像を記録するだけでなく、アイドリング時間・急加減速・速度超過などの運転状況の情報管理機能をプラスしたものです。

ドライブレコーダーで収集したこれらのデータをコンピューターで解析し、画像とともに運転者を評価、指導することで、安全な運転が実現できます。急加減速をしない優しい運転は、燃費の良い運転になりますので、燃料高騰時代の企業防衛策につながります。燃費改善効果は運転の個人差によりますが、1割から2割程度まで改善したというデータも報告されています。

一般の事業所でも、車両を複数台数保有しているところでは、ドライブレコーダーを装備し、運転者同士で安全運転を競わせること

も有効です。省エネだけでなく、安全運転の実現につながり、事故処理費用や保険料負担の軽減が見込めます。

もっとも、運転者が慣れてくると初期の効果は得られなくなることが分かっています。国土交通省は04年度から06年度まで、タクシー業界を中心にドライブレコーダーの交通事故抑止効果に関する調査などを進めてきました。その過程で、ドライブレコーダー装着直後は運転者も緊張し、事故も減少するのですが、慣れてくると再び事故が増加する傾向が出るようになったそうです。

やはり教育は繰り返しが必要、気を引き締めることが管理上は重要になるということです。事業者の対応によっても、活用法が違ってもわかっており、ドライブレコーダーのデータをどのように活用していくか、ソフト面の研究も進み始めています。

そこで先取りして、エンドユーザーにドライブレコーダーは広がるのでしょうか。現時点では、業務用で広がっていますが、それを

追いかけるように09年から10年にかけてエンドユーザーへの普及が始まるだろうと予測されています。近い将来は、数百万台レベルの市場規模になるとも言われています。初心運転者教育に活用できると見られていますが、やはりエンドユーザーが求める機能としては画像中心になるようです。データ取扱いの法的な位置づけなどの課題はありますが、「どちらが悪い」と言い争う前に画像データがあれば、解決も早くなることは確かです。

ただ、問題がひとつだけあります。最近、信号機がLEDタイプに切り替わっています。細かく点滅を繰り返しているLED信号とカメラのシャッターが同調し、画像に信号の点灯色が記録されないケースもあります。こうした事故が起こる確率は、1%程度だと国土交通省は試算しています。すでにこの対策を実施したメーカーもありますが、お客様にドライブレコーダーをお勧めする際は、注意点として心に留めておきたいものです。

## NGP 今月のCO2削減量

● ● NGP平成20年3月: **7,319,332kg** (全12団体計: 13,828,857kg)

1月からの累計: **21,484,900kg** (全12団体計: 40,292,195kg)

NGPをはじめとしたリサイクル部品販売事業12団体は、グリーンポイントクラブを作り、リユース部品、リビルト部品を利用することで達成できたCO2の削減量を利用者の皆様にお知らせしています。ご協力ありがとうございます。

NGP協同組各委員長に聞く 第4回 寺田博正くるマック委員長

# くるマックを通じて一般ユーザーを啓蒙 願いは、自動車リサイクルを さらに深く感じ取ってもらうこと

くるマック委員会は、  
エンドユーザーに自動車リサイクルについて  
理解を深めてもらうため、ホームページのリ  
ニューアルに取り組んでいます。  
リサイクル部品利用促進の情報発信機能を  
追加して、整備事業者の皆さんとエンドユー  
ザーをつなぐ役割を担っています。

—エンドユーザーに直接働きかける効果は  
でていますか

「自動車リサイクル法の施行後、使用済自動車  
の流通経路が大きく変わりました。その  
結果、良質な部品取り車の入手が困難にな  
り、中古部品卸売業としての部品の生産・供  
給責任を果たすことも難しい状況になって  
きました。そこで、エンドユーザーに、まず  
自動車リサイクルの実状を知ってもらい、  
使用済自動車の適正処理とリサイクルパー  
ツの認知度を上げるために取り組み始めた  
のが、くるマックです。細かな取り組みを  
行っているところでは、着実に実績が上が  
り、廃車の買い取りだけでなくリサイクル

部品の認知拡大につながっています」  
—ホームページをリニューアルは、どう進み  
ましたか

「くるマックホームページへのアクセス数  
をアップすることを目標に、動画を取り入  
れたりして、継続的にホームページの充実  
を図っています。ホームページ検索では、対  
策を進めたことで、主要なキーワードで上  
位5位以内に入るようになってきました。  
随時新しいメニューを取り入れて、興味を  
持ってもらえるようにし、ホームページ検  
索で最上位にくるように努めます」

—将来の構想は

「くるマックは、自動車リサイクルの仕組み  
をエンドユーザーに分かってもらうための  
ツールです。ホームページなどを通じて、自  
動車リサイクルがどのように動いているの  
だということをさらに深く感じ取ってもら  
えるような存在にしたいと思っています。  
現行の制度を知り、さらにリサイクル部品  
についても知ってもらえれば、需要拡大に  
結び付くと思っています」

—新たなシステム展開の予定は

「いろいろ構想はありますが検討している  
段階です。システム委員会と連携してリサ  
イクル部品販売を拡大する仕組みを作るこ  
とも考えています。取り付けを希望するお  
客様には、近郊のリサイクル部品活用整備  
事業者さんを紹介するようなことも、検討  
しております」



寺田博正 (てらだ・ひろまさ)  
1976年生まれ てんびん座 A型 趣味・旅行

国内自動車保有台数 減少に転換

## 気になるアフターマーケットの低迷

日本の自動車保有が減少に転じ始め  
たようです。今年1月の自動車保有車  
両数は登録車、軽自動車などを含めて  
7938万7772台で、1年前の1月末に  
比べて8万6000台あまり少なくなっ  
ています。四輪車だけでは約14万6000台  
減っています。

07年12月の保有台数も、「職権抹消」  
で行方不明になっている9万台あまりの車  
両について抹消登録したことでマイナスと  
なり、昨年12月末、今年1月末と2カ月連  
続で、保有台数は前年同月比で落ち込みま  
した。1月の減少は自然減と言われており、  
これまで緩やかな上昇を続けていた日本の  
自動車保有は、転換期を迎えたようです。

特に登録乗用車は落ち込みが続いて  
います。1年前に比べて自家用車が  
71万9940台、営業車で332台、合計  
で72万2722台の減少となっています。こ  
のうち42%に当たる30万6069台が

2008年1月末車種別保有台数

車種	08年1月末保有台数	前年1月末増減	前年比	
登録自動車	貨物自動車	6,769,300台	▲122,574台	98.2%
	乗合自動車	230,963台	▲595台	99.7%
	乗用自動車	41,675,135台	▲720,272台	98.3%
	(自家用)	(41,401,973台)	(▲719,940台)	(98.3%)
	(営業用)	(273,162台)	(▲332台)	(99.9%)
	特殊用途車	1,585,003台	▲21,343台	98.7%
被けん引車	154,968台	3313台	102.2%	
登録自動車合計	50,415,369台	▲861,471台	98.3%	
軽自動車	27,472,506台	748,674台	102.8%	
合計	79,387,772台	▲85,823台	99.9%	

注：(自家用)(営業用)は乗用自動車の内数。合計には小型2輪車1,499,897台含む。

ディーゼル乗用車です。途上国などでは、日  
本の低年式中古車の人気が高く、中古車輸出  
が拡大しています。こうしたことも国内保有  
車両数の減少に拍車をかける要因になっ  
ていると見られます。

このままでは、国内自動車保有のピークは

07年9月末の7968万台あまりとなり  
ます。今後の推移を見守る必要はありませ  
んが、新車販売が低迷しているなかで、自動車  
保有自体が減少するようになったとすると、  
自動車関連のマーケットはさらに厳しさを  
増すこととなります。



## 第1回初級フロントマンSTEP UP研修を開催 ロープレで切磋琢磨、気付きの世界が広がる



ロープレは、いろいろなことを気付かせる機会につながった。参加者は満足し、明日への自信につながった

NGP協同組合は4月2日、3日の両日、静岡県裾野市のあいおい東富士センターで第1回初級フロントマンSTEP UP研修を実施しました。この研修は、初級研修と中級研修の中間に位置づくもので、フロントマンのレベルアップを図るために、今期から取り組み始めたものです。4月月初めで日常業

務に追われる時期ですが、全国から9名のフロントマンが参加し、ロールプレイングによる研修に取り組みました。

ロープレは、全員が2回行いました。モニターを見ながら講師とともに、互いに相手を批評していきます。自分自身の振る舞いを確認することもできます。相手の良い部分、自分に不足している部分などを取り上げ、話し合うことで、参加者はさまざまな接客ノウハウの気づきにつながったようです。

「NGP協同組合は、お客様第一を三大信条の筆頭に掲げていますが、自分流の押し付けになっているケースもあります。義務の研修ではありませんが、この研修を通じて初級フロントマンが能力に磨きをかけ、真のお客様第一に気付いてくれるきっかけを作りたいと思い、始めました」と岩井悟朗教育委員

長は話しています。

「非常に短い時間で

でしたが、内容の濃い充実した研修でした。普段見ることができない自分自身の姿と声を確認でき、改善すべきことに気付くことがうれしく思いました」(大橋商店・田中禎邦さん)。「自分自身の受注対応の姿をビデオで見ることができ、長所を伸ばし、短所を無くすという課題ができました。フロントとしてもうひとつの壁を越えるためのいいヒントをいただけた研修会でした」(テラダパーツ・西川太郎さん)など、受講者に好評でした。



人前では日常業務をこなしているつもりでも緊張するもの。相手を批判することで自分の不足も見えてくる

## 第2回ハイブリッドカーセミナー実施 将来に備えて専門知識・技量に磨き

NGP協同組合は、3月26、27日、あいおい東富士センターで第2回ハイブリッドカーセミナーを実施しました。1月8、9日に実施したセミナーの第2弾で、14人が受講し、実車をもとにハイブリッドカーの構造、処理するための安全対策など、10時間を超える学科、実技の講習に取り組みました。

環境問題への関心の高まりとともに、ハイブリッドカーの需要も高まっています。今後、使用済み車両としての入庫が増すと思われる、安全な解体作業をするためにも専門知識は不可欠です。参加者は実車を触って、プリウスの高電圧電池ボックス脱着、分解練習を行うとともに、万が一、感電事故が起きた場



実車を使った実践的なセミナーに参加者は真剣そのものだった

合の緊急脱生法についても学ぶなど、実践的な内容です。受講者は「低圧電気取扱特別講習修了証」が授与されました。

## 「くるマック」キャンペーン、7月、8月に第2弾

NGP協同組合は7月、8月に「くるマック」キャンペーンの第2弾を実施します。3月、4月に実施した春のキャンペーンに続く第2弾です。春のキャンペーンでは、ご成約者の中から抽選で、任天堂DSライト、同Wii、iPodシャッフルをプレゼントしました。好評につき、実施することを決めました。

夏のキャンペーンでは、ご成約者に抽選でプレゼントを贈るだけでなく、全員にエコバックなど、なにかをプレゼントすることも企画しています。

自動車リサイクル法で使用済み自動車の流通は大きく変わりましたが、エンドユーザーに直接働きかけてこの流れを変えるこ

とは、解体・リサイクル部品業界にとって喫緊の課題になっています。また、こうしたキャンペーン活動を通じて、くるマックを知ってもらえるお客様が増えることは、自動車リサイクルを理解し、自動車リサイクル部品を使っただけのエンドユーザーを育てることにつながるものと考えています。

### 組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
北関東	有限会社佐藤商事	住所表示	〒959-3106 新潟県村上市切田1042-2(市町村合併により「岩船都荒川町」→「村上市」)	20年4月1日

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F  
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209  
http://www.ngp.gr.jp

(株)NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F  
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201